

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation 本社・大野木事業所

〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格発行: CISPR 32 Ed. 1.0 (2011-10) (マルチメディア機器エミッション) FDIS 発行	3
IEC: 規格速報: IEC/TR 61000-3-14 Ed. 1.0 (2011-10) 技術報告書	6
IEC: 規格発行: 2 件の国際 EV 充電規格 IEC 62196-1, 62196-2 発行	7
IEC: 新規格リスト	10
ISO: 新規格リスト	11
国際テーマ: コスモスニュースから 各国認証関連情報を再掲	12
国際テーマ: 機械安全 基礎講座: 第 5 回 リスクアセスメントとは	13

USA: CPSC: 製品認証に関する試験及びラベリング要求、最終規則、2013/2/8 発効	18
USA: CPSC: 構成部品、他の機関による最終製品の試験を根拠として使うための条件	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 家庭用セントラルエアコン等省エネ規格適合日の通知	19
USA: DOE: マーケットドライブの効率商用エアコンチャレンジへ最初の参加	20
USA: DOE: 住宅用セントラルエアコン 等の試験手順: オフ-モード電力消費	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: ANSI/IEEE: 新規格リスト: 原発機器 EMC イミュニティ試験審議開始	24

EU: 電気/電子製品、リフト等 9 件の工業分野指令で製品安全を改善: 適合要求を同一に 27	
EU: 自動車の型式認証枠組み指令 2007/46/EC、電気車両に対する要求事項を規定	28
EU: ErP 指令、省エネラベル指令: 家庭用食器洗い機実施規制への整合規格リスト発表	30
EU: 整合規格リスト発表: 一般製品安全指令、個人保護具(PPE)指令	31
EU: CENELEC: 新規格リスト	32
EU: ETSI: 新規格リスト	34
オーストラリア: ITE 規格 AS/NZS CISPR 22:2009: 1 GHz 超エミッション試験 要求	35

中国: CNCA 25 号公告: 電動工具製品の強制認証実施規則を修正	36
中国: CNCA: 「クーリングタワー省エネ認証技術規範 (申告稿) 」 意見募集	36
中国: CQC: 「生活設備用ヒーターと凍結防止用ヒーターケーブル」の製品認証を実施	37
中国: CQC: 「グリッド接続太陽光発電専用インバータの認証技術条件」を実施	37
韓国: 電気的安全性、電磁適合性規制の分離/説明会、公聴会開催	38
台湾: 新規格リスト: 電気車両、充電システム等規格	39
台湾: 「サーバ、ルータ、接続器、交換機とハブ等の 5 項商品の関連試験規定」制定	39
台湾: 「テレビ、TV セットトップボックス等 4 種製品の試験を実施する規格」を修正	40
台湾: 電気冷蔵庫、洗濯機及び乾燥機製品 商品検証業務委託検証の類別に	41

日本: 総務省: 人体側頭部を除く人体近接使用無線機器等に対する比吸収率測定方法	42
日本: 総務省: 経済産業省: 情報通信分野における標準化政策検討委員会 (第 5 回)	42
日本: 経済産業省: LED ランプ等/リチウムイオン蓄電池 改正省令案	43
日本: 経済産業省: 延長コードセットを新たに電気用品に追加: 改正省令案	43
日本: 経済産業省: 「電気用品の範囲等の解釈について」の改正に関する意見募集	43
チュートリアル: 電気機器の設計について製品安全上考慮すべき基本事項	15
コスモス・コーポレーションからのご案内: 電気用品の評価業務	17
ちょっと いっぱく: 小クイズコーナー 欧州 EN 規格関連の日付について	26
社長の独り言	44
コスモス・コーポレーションからのご案内	45

IEC: 規格発行: CISPR 32 Ed. 1.0 (2011-10) (マルチメディア機器エミッション) FDIS 発行(1/2)

CISPR 13 及び CISPR 22 両者の適用範囲を包含するマルチメディア機器に対するエミッション要求規格である。最終国際規格案 FDIS の段階に到達したもの。

- 本規格の構成は、従来の CISPR 22 などと異なっている。規格本体は基本事項のみを規定し、どの Annex に詳細要求事項を規定しているかを述べている。Annex に詳細要求事項が規定されている。
- 本規格では CD 段階で、1 GHz 以下の放射エミッション測定に FAR による測定が許容されていたが、本 FDIS では FAR による測定は削除された。
- CISPR 13 にあって本規格で規定されていない幾つかの項目がある。測定が単純化されているといえる。

IEC: 規格発行: 2 件の国際 EV 充電規格 IEC 62196-1, IEC 62196-2 発行

IEC 62196-1 ed 2.0、及び、IEC 62196-2 ed 1.0 が 2011-10-13 付で発行された。

- 2 件からなる新規 IEC 国際 EV 規格は、限定数のオプションの組み合わせを定め、そこから各国及び製造会社が必要なものを選択出来るようになっている。このことにより、EV とそれを充電するのに必要な部品が、より多くの国で、使用出来る。このことは、製造会社のコストを下げ、かつ、潜在的に消費者への EV の魅力を増大させることにつながる。

USA: CPSC: 製品認証に関する試験及びラベリング要求、最終規則、2013/2/8 発効

- 消費者製品の製品認証に関する試験及びラベリング要求、最終規則、2013/2/8 発効。
ラベリングは、以下の声明からなること 「Meets CPSC Safety Requirements(CPSC 安全要求に合致)」

EU: 電気/電子製品、リフト等 9 件の工業分野指令で製品安全を改善: 適合要求を同一に

- 9 件の指令の一定の条項は、EU レベルで開発されたモデル条項により調整される作業が進行中である、これにより、製品適合執行業務の推進を難しくしている EU 法における相違が克服されるであろう。9 件の指令で異なっている適合要求を同一にする。

EU: 自動車の型式認証枠組み指令 2007/46/EC、電気車両に対する要求事項を規定

- 指令 2007/46/EC は、モータ車両、及び、車両用を意図したシステム及び部品の承認のための枠組みを制定する指令である。現在、枠組み指令内には、電気車両の特性及びリスクを取り扱う特有の技術要求は、定められていない。しかしながら、将来は、一定の UNECE 規制 100 等の強制適用を含んで、電気車両に対する要求事項を規定することにより枠組み指令を修正することが考えられている。
- 又、現在枠組み指令の適用範囲内にある電気車両は、重複規制を避けるよう低電圧指令 (2006/95/EC) から、除外することになるであろう。

日本: 経済産業省: LED ランプ等/リチウムイオン蓄電池 改正省令案

- パブリックコメント: 意見募集中 「電気用品安全法施行規則の一部を改正する省令案」及び「電気用品の技術上の基準を定める省令の一部を改正する省令案」に関する意見募集 (エル・イー・ディー・ランプ等/リチウムイオン蓄電池) について

A2LA 認定校正サービス

電圧、電流、電力、RF、EMC 測定機器ほか

ISO/IEC 17025:2005 校正試験所として A2LA に認定

コスモス・コーポレーションは「ISO/IEC 17025:2005 & ANSI/NCSL Z540-1-1994」に適合した校正試験所として、8 月 4 日付けで A2LA に認定を受けました。（認定番号=2900.02）これにより、電圧、電流、電力、RF、EMC 機器等について、A2LA および ILAC 認定の校正証明書を発行できるようになりました。

ILAC とは？

『ILAC』（International Laboratory Accreditation Cooperation）は、世界で最も権威ある校正試験所認定の国際組織です。ILAC の認定を受けるということは、ISO/IEC17025 に基づく品質管理体制のもと、世界各国で受け入れ可能な信頼性の高い校正サービスが提供できることを意味します。

A2LA 認定校正業務範囲

コスモス・コーポレーションでは、A2LA に認定された業務範囲において、A2LA および ILAC 認定シンボル付きの校正証明書を発行することができます。以下は、その認定校正業務範囲の一例です。

A2LA とは？

『A2LA』（The American Association for Laboratory Accreditation）は ILAC に加盟している試験所認定機関の一つです。認定範囲は、電気、機械、医療、化学、材料など多岐に及びます。

校正対象	校正項目	校正範囲
直流電圧	直流電圧発生	10mV ~ 1000V
	直流電圧測定	1mV ~ 1000V
直流電流	直流電流発生	10uA ~ 100A
	直流電流測定	1uA ~ 1A
交流電圧	交流電圧発生	10mV ~ 700V
	交流電圧測定	10mV ~ 700V
交流電流	交流電流発生	1uA ~ 100A
	交流電流測定	1uA ~ 1A
直流抵抗	直流抵抗	1Ω ~ 100MΩ
	直流抵抗測定	1Ω ~ 1GΩ
交流電力	交流電力測定	100W, 1kW
	直流電圧	1V ~ 1000V
オシロスコープ	交流電圧	1V ~ 700V
	周波数応答	1kHz ~ 1MHz
RF 電力	RF 電力発生	9kHz ~ 18GHz
	RF 電力測定	9kHz ~ 26.5GHz
RF 伝送路	インピーダンス	9kHz ~ 8.5GHz
	VSWR	9kHz ~ 8.5GHz
EMC 測定器	EMI レシーバ	9KHz ~ 3GHz
	LISN	9KHz ~ 3GHz
	アンテナ	25MHz ~ 1000MHz
	スペクトラムアナライザ	9KHz ~ 3GHz
周波数	周波数発生	10Hz ~ 18GHz
	周波数測定	10Hz ~ 40GHz
	基準周波数	10MHz

※お問合せは—営業本部 [sales@cosmos-corp.com] まで



Cosmos Corporation

WWW.SAFETYWEB.CO.JP 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1
TEL : 0598-30-5225 FAX : 0598-30-5571

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC 及び安全 (EMC and Safety) 分野に関し、世界の主要機関/地域により実施され、かつ電気電子製品デバイスに適合が求められている、規格/法規制情報を、お届けいたします。重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等 国際機関、並びに、FCC UL を含む 米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション 営業本部まで sales@cosmos-corp.com

Tel 0598-30-5225

Fax 0598-30-5571

- 発行：年間 11 回 発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格：各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、http://www.safetyweb.co.jp/?page_id=1113

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社 コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関 米州	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
欧州	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
オセアニア	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
アジア	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
日本	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2011-12-01 (No. 27)

発行所：株式会社 コスモス・コーポレーション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人：濱口慶一

編集人：倉品光雄

NARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2011 株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。